(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和 6年 6月 10日

東京都知事 殿

提出者

住 所 東京都港区芝4-9-4

氏 名 みらい建設工業株式会社 東京支店 執行役員支店長 相良 宏介

(法人にあっては、名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-6400-3111

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事	ま業場の名称	みらい建設工業株式会社 東京支店 東京都内管轄工事 (八王子市を 除く)
事	業場の所在地	東京都港区芝4-9-4
計	画 期 間	令和6年4月1日から令和7年3月31日まで
当該	亥事業場において現に?	テっている事業に関する事項
	①事業の種類	D建設業 06総合工事業
	②事業の規模	107億円
	③従 業 員 数	9 5名
	④産業廃棄物の一連 の処理の工程	がれき類 →再生処分業者へ委託し再資源化 廃プラスチック→再生処分業者へ委託し再資源化 木くず →再生処分業者へ委託し再資源化 汚泥 →再生処分業者へ委託し再資源化 金属くず →再生処分業者へ委託し再資源化 混合廃棄物 →再生処分業者へ委託し再資源化および焼却

(日本産業規格 A列4番)

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項								
	(管理体制図)							
	全社建設副産	物管理総括責任者 _	本社建設區	本社建設副産物管理委員会				
	支店建設副産	物管理総括責任者	→ 支店建設區	川産物管理委員会				
	支店建設副産物管理責任者							
		物処理責任者						
産業	芝廃棄物の排出の抑制に	こ関する事項						
		【前年度(令和5年度)等	実績】					
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類				
		排 出 量	5, 339. 46 t	55.85 t				
		(これまでに実施した取	(組)					
	①現状	分別の徹底						
		【目標】						
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類				
		排 出 量	4, 500. 00 t	40.00 t				
		(今後実施する予定の取	(組)					
	②計画	分別の徹底						
産業	 	3事項						
産業	 	(分別している産業廃棄						
産業	美廃棄物の分別に関する ①現状		金属くず、廃プラス	チック、石膏ボードの				
産業		(分別している産業廃棄 がれき類、紙、木、繊維、	金属くず、廃プラス 綿含有廃棄物について	チック、石膏ボードの				
産業		(分別している産業廃棄がれき類、紙、木、繊維、分別を行うとともに、石紅しないように分別、保管を (今後分別する予定の産	金属くず、廃プラス 綿含有廃棄物について を実施 業廃棄物の種類及び分	チック、石膏ボードの も、他の廃棄物に混入				
産業	①現状	(分別している産業廃棄 がれき類、紙、木、繊維、 分別を行うとともに、石 しないように分別、保管	金属くず、廃プラス 綿含有廃棄物について を実施 業廃棄物の種類及び分	チック、石膏ボードの も、他の廃棄物に混入				
産業		(分別している産業廃棄がれき類、紙、木、繊維、分別を行うとともに、石紅しないように分別、保管を (今後分別する予定の産	金属くず、廃プラス 綿含有廃棄物について を実施 業廃棄物の種類及び分	チック、石膏ボードの も、他の廃棄物に混入				

	廃棄物 <i>①</i> 出 出	量	金属くず	4. 29	t	ガラス陶磁器等くず 104.80	t	コンクリート片 9,497.82	t	廃アスファルト 1,369.8
								,		l '
【目標】										
	廃棄物の)種類	金属くず			ガラス陶磁器等くす	2	コンクリート片		廃アスファルト
)種類 量	金属くず	3.00	t	ガラス陶磁器等くす	t		t	廃アスファルト 1,000.00

産業	廃棄物の)種類	レンガ破片	片など		石綿含有産業廃棄物	紙	くず			木くず		
排	出	量		512. 90	t	77. 34 t			3. 30	t		235. 95	
【目標】													-
	廃棄物0)種類	レンガ破り	片など		石綿含有産業廃棄物	紙	くず			木くず		
)種類 量		片など 450.00	t	石綿含有産業廃棄物 50.00 t		くず	1.00	t	木くず	150.00	

産業原	廃棄物の	種類	繊維くず			建設混合廃棄物		廃蛍光ランプ類		
排	出	量		0.36	t	173. 60	t	0. 17	t	_
【目標】										
	廃棄物の)種類	繊維くず			建設混合廃棄物		廃蛍光ランプ類		
	廃棄物 の出)種類 量	繊維くず	0. 10	t		t		t	
産業原			繊維くず	0. 10	t		t		t	
産業原			繊維くず	0. 10	t		t		t	

自身	っ行う産業廃棄物の再生	生利用に関する事項		
		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	①現状	自ら再生利用を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	少光 从	(これまでに実施した) 実施無し	取組)	
		【目標】		
		 産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
		自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
	②計画	(今後実施する予定の) 実施予定なし	取組)	
		JAME 1 YEAR O		
自身	<u>┃</u> っ行う産業廃棄物の中間	<u> </u> 間処理に関する事項		
		【前年度(令和5年度)	実績】	
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
		自ら熱回収を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	①現状	自ら中間処理により減 量した産業廃棄物の量	- t	- t
		(これまでに実施した) 実施無し	取組)	
		【目標】		
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
		自ら熱回収を行う 産業廃乗物の量	- t	- t
	②計画	自ら中間処理により減 量する産業廃棄物の量	- t	- t
		(今後実施する予定の) 実施予定なし	取組)	

(第3面)-2自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら再生利用を行う t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 金属くず ガラス陶磁器等くず コンクリート片 廃アスファルト 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 レンガ破片など 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 レンガ破片など 紙くず 木くず 石綿含有産業廃棄物 自ら再生利用を行う t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 レンガ破片など 紙くず 木くず 石綿含有産業廃棄物 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 レンガ破片など 石綿含有産業廃棄物 紙くず 木くず 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら再生利用を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら再生利用を行う t t t 産業廃棄物の量 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら熱回収を行った t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t 量した産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら熱回収を行う t t t t 産業廃棄物の量 自ら中間処理により減 t t t t 量する産業廃棄物の量

自ら行う産業廃棄物の:			
	【前年度(令和5年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
①現状	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃棄物の量	- t	- t
	(これまでに実施した! 実施無し	 取組)	
	【目標】		
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
②計画	自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	- t	- t
産業廃棄物の処理の委	実施予定なし		
	【前年度(令和5年度)	実績】	
	産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類
	全処理委託量	5, 339. 46 t	55.85 t
	優良認定処理業者 への処理委託量	2, 572. 90 t	39. 57 t
①現状	再生利用業者への 処理委託量	5, 339. 46 t	55.85 t
	認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t
	(これまでに実施したF 委託基準に従って、産業		 美者を選定し、電子また

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	金属くず		ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産 業 廃 乗 物 の 量	-	t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	金属くず	ガラス陶磁器等くず	コンクリート片	廃アスファルト
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	金属くず			ガラス陶磁器等くず		コンクリート片		廃アスファルト	
全処理委託量		4. 29	t	104. 80	t	9, 497. 82	t	1, 369. 83	t
優良認定処理業者 への処理委託量		4. 29	t	2.00	t	387. 32	t	481.00	t
再生利用業者への 処理委託量		4. 29	t	104. 80	t	9, 497. 82	t	1, 369. 83	t
認定熱回収業者 への処理委託量		-	t	-	t	-	t	-	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		-	t	_	t	_	t	_	t

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った 産業廃乗物の量	- t	- t	- t	- t

【目標】

産業廃棄物の種類	レンガ破片など	石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産 業 廃 棄 物 の 量	- t	- t	- t	- t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

【前年度(令和5年度)実績】

産業廃棄物の種類		レンガ破片など		石綿含有産業廃棄物		紙くず		木くず	
	全処理委託量	512. 90	t	77. 34	t	3. 30	t	235. 95	t
	優良認定処理業者 への処理委託量	5. 92	t	-	t	3. 30	t	47. 85	t
	再生利用業者への 処理委託量	512.90	t	77. 34	t	3. 30	t	235. 95	t
	認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	-	t	-	t	_	t
	認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	-	t	-	t	-	t	-	t

(第4面)-4 自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った t t t t 産業廃棄物の量 【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う t t t t 産業廃棄物の量 産業廃棄物の処理の委託に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 繊維くず 産業廃棄物の種類 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 全処理委託量 0.36 173.60 t 0.17 t t 優良認定処理業者 0.36 50.31 t t t t への処理委託量 再生利用業者への 0.36 173.60 t 0.17 t t t 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 t t t t への処理委託量 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 t t t t への処理委託量

(第5面)

-		(第5面	<u>ī</u>)			
		【目標】				
		産業廃棄物の種類	建設汚泥	廃プラスチック類		
		全処理委託量	4, 500.00 t	40. 00 t		
		優良認定処理業者 への処理委託量	2, 250. 00 t	28. 00 t		
	②計画	再生利用業者への 処理委託量	4, 500.00 t	40.00 t		
		認定熱回収業者 への処理委託量	- t	- t		
		認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	- t	- t		
		(今後実施する予定のF 可能な限り優良認定業者 再生利用が可能である廃 る	から選定する	利用業者へ処理委託す		
※ 事	孫処理欄					

(第5面)-2

			,	、男 3 囲 / 一 乙							
【目標】											
産業廃棄物の種類	金属くず			ガラス陶磁器等くず		コンクリート片		廃アスファルト			
全処理委託量		3. 00	t	80.00	t	8, 500. 00	t	1, 000. 00	t		
優良認定処理業者 への処理委託量		3. 00	t	10. 00	t	500.00	t	400.00	t		
再生利用業者への 処理委託量		3. 00	t	80.00	t	8, 500. 00	t	1, 000. 00	t		
認定熱回収業者 への処理委託量		-	t	I	t	-	t	-	t		
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量		_	t	_	t	_	t	_	t		

(第5面)-3

		'	(弗 5 囲) — 3		
【目標】					
産業廃棄物の種類	レンガ破片など		石綿含有産業廃棄物	紙くず	木くず
全処理委託量	450.00	t	50.00 t	1.00 t	150.00 t
優良認定処理業者 への処理委託量	20.00	t	10.00 t	1.00 t	45. 00 t
再生利用業者への 処理委託量	450.00	t	50.00 t	1.00 t	150.00 t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	- t	- t	- t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	-	t	- t	- t	- t

(第5面)-4

		,	(弗 5 囲) - 4					
【目標】								
産業廃棄物の種類	繊維くず		建設混合廃棄物		廃蛍光ランプ類			
全処理委託量	0.10	t	120.00	t	0.10 t		-	t
優良認定処理業者 への処理委託量	0. 10	t	40.00	t	0.10 t		-	t
再生利用業者への 処理委託量	0.10	t	120.00	t	0.10 t		-	t
認定熱回収業者 への処理委託量	-	t	-	t	- t		-	t
認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者 への処理委託量	_	t	-	t	- t		_	t
	産業廃棄物の種類 全 処 理 委 託 量 優良認定処理業者 への処理委託量 再生利用業者への 処 理 委 託 量 認定熱回収業者 への処理委託量 認定熱回収業者以外 の熱回収を行う業者	産業廃棄物の種類 繊維くず 全 処 理 委 託 量 0.10 優良認定処理業者 への処理委託量 0.10 再生利用業者への 処 理 委 託 量 0.10 認定熱回収業者 への処理委託量 - 認定熱回収業者 への処理委託量 -	(目標) 産業廃棄物の種類 繊維くず 全処理委託量 0.10 t 優良認定処理業者への処理委託量 0.10 t 再生利用業者への処理委託量 0.10 t 認定熱回収業者への処理委託量 - t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 - t	【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 全処理委託量 0.10 t 120.00 優良認定処理業者への処理委託量 0.10 t 40.00 再生利用業者への処理委託量 0.10 t 120.00 認定熱回収業者への処理委託量 - t - 認定熱回収業者への処理委託量 - t - 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 - t -	【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 全処理委託量 0.10 t 120.00 t 優良認定処理業者への処理委託量 0.10 t 40.00 t 再生利用業者への処理委託量 0.10 t 120.00 t 認定熱回収業者への処理委託量 - t - t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 - t - t	産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 全処理委託量 0.10 t 120.00 t 0.10 t 優良認定処理業者への処理委託量 0.10 t 40.00 t 0.10 t 再生利用業者への処理委託量 0.10 t 120.00 t 0.10 t 認定熱回収業者への処理委託量 - t - t - t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 - t - t - t	【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 全処理委託量 0.10 t 120.00 t 0.10 t 優良認定処理業者への処理委託量 0.10 t 40.00 t 0.10 t 再生利用業者への処理委託量 0.10 t 120.00 t 0.10 t 認定熱回収業者への処理委託量 - t - t - t 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 - t - t - t	【目標】 産業廃棄物の種類 繊維くず 建設混合廃棄物 廃蛍光ランプ類 全処理委託量 0.10 t 120.00 t 0.10 t - 優良認定処理業者への処理委託量 0.10 t 40.00 t 0.10 t - 再生利用業者への処理委託量 0.10 t 120.00 t 0.10 t - 認定熱回収業者への処理委託量 - t - t - t - 認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者 - t - t - t - t -

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
 - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
 - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまで の一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。